



医療法人 沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院

Hospital Data

病院長	塩野 正喜
所在地	〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL	0467-46-1717
FAX	0467-45-0190
URL	http://shonankamakura.or.jp/
受付時間	午前7:30 ~ 12:00 (形成外科は11:00まで) 午後12:30 ~ ※午後の受付終了時間は各科により異なります。 夕方16:45 ~ 19:00
休診日	日曜・祝日
	救急は24時間365日受け付けています

# 総合病院ならではの チーム医療で治療に取り組む

2010年、大動脈センターを開設した湘南鎌倉総合病院では、救急用ステントグラフトを常備。大動脈瘤破裂に対してもステントグラフト治療を積極的に取り入れている。その取り組みについて聞く。

## 大動脈センターを開設

当センターは、2010年、病院新築を機に、大動脈瘤に対して人工血管置換術などを行っていた心臓血管外科と、カテーテルやステントグラフトを



荻野 秀光

1996年山形大学医学部卒。大動脈センター長(血管内治療部門)：カテーテル、ステントグラフト治療。外科部長。日本外科学会認定外科専門医、ステントグラフト担当医。



田中 正史

1996年日本大学医学部卒。大動脈センター長(外科治療部門)：開胸、開腹手術治療。心臓血管外科部長。医学博士。日本外科学会認定外科専門医、日本心臓血管外科学会認定心臓血管外科専門医。

治療の口を一本化したことで、受診される方もわかりやすくなっ



また、大動脈瘤は破裂すると致命的なダメージをもたらしますが、当病院は救急医療においても設備、スタッフともに充実した体制が整っていますので、そうした緊急の事態にも対応可能です。ステントグラフト治療は通常、患者さんの血管の形態にあったものを手術前に発注して供えますが、当センターでは救急用のステントグラフト

## 大動脈瘤破裂にも対応可能

向にあります。また、大動脈瘤は破裂すると致命的なダメージをもたらしますが、当病院は救急医療においても設備、スタッフともに充実した体制が整っていますので、そうした緊急の事態にも対応可能です。ステントグラフト治療は通常、患者さんの血管の形態にあったものを手術前に発注して供えますが、当センターでは救急用のステントグラフト

とはいえ、命の危険にさらされるような事態にはならないことが一番です。50歳以上、特に60歳以上で、動脈硬化や高血圧症、高脂血症などの病気を患っている方は、大動脈瘤のリスクが高くなっています。一度、腹部エコーやCT検査を受けられると良いと思います。当センターでは、大動脈瘤に関する市民公開講座を開催するなど、啓蒙活動にも力を入れています。興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。

使った血管内治療が専門の血管外科を合併して設置されたもの

## 治療実績

胸部大動脈瘤	2009年	2010年
開胸手術	57	64
真性動脈瘤、慢性解離	28	24
大動脈瘤破裂	4	4
急性大動脈解離	25	36
ステントグラフト治療	6	10
胸部大動脈瘤手術(合計)	63	74

腹部大動脈瘤	2009年	2010年
開腹手術	28	16
ステントグラフト治療	51	66
腹部大動脈瘤手術(合計)	79	82

面でも、開腹・開胸手術からカテーテルやステントグラフトによる治療、あるいはこれらを組み合わせて、二つの良いところを合わせたハイブリッドな治療までがスムーズにできるように、患者さんの病状や体力に合わせて治療の選択肢が増えました。高齢の患者さんにとって、侵襲の少ないステントグラフト治療ができるのは大変喜ばしいことだと思います。腹部大動脈瘤では、09年、すでにステントグラフト治療が開腹手術を上回り、胸部大動脈瘤でも増加傾向にあります。

を常に配備しています。破裂した動脈瘤に、まずステントグラフトを入れて止血し、病状がやや落ち着いた



ハイブリッド手術室での治療風景